

平成29年度指導教諭の紹介

<p>教科（科目）</p> <p>国語 (現代文B・古典B)</p> <p>名前 (ふりがな)</p> <p>池邊 良介 (いけべ りょうすけ)</p> <p>勤務校 (問い合わせ先)</p> <p>大分県立杵築高等学校 (住所) 大分県杵築市大字本庄 2379 番地</p> <p>TEL 0978-62-2037</p>	<p>1 授業の特徴</p> <p>① いかに生徒に考えさせるかを意識しています。 ② 「対比」「類比」「抽象」等の思考をメタ認知させるようにしています。 ③ 生徒の活動は「個」「ペア」「グループ」「全体」という単位を使い分けながら行っています。 ④ 生徒の記述答案の板書にもとづく評価をおこなっています。 ⑤ 古典の学習材によっては、訳から内容ではなく、内容から訳に切り込む形で授業をしています。</p> <p>2 教科指導に関して情報提供や協議が可能な事項</p> <p>① 生徒の思考を深めるための効果的な発問のあり方。 ② 学習材の内容の対比、変化等を踏まえた構造的な板書のあり方。 ③ 生徒の記述答案の板書にもとづく評価、添削のしかた。 ④ 予習課題の作り方。 ⑤ 効果的な言語活動の組み方。</p> <p>3 研修講演等が可能なテーマ</p> <p>上記①～⑤と各種「読み」の理論について。</p> <p>4 活動実績</p> <p>明治図書『国語力をつける発問づくり 中学校』（平成17年11月発行）共同執筆 明治図書「教育科学国語教育」（平成18年4月発行）共同執筆 平成16年7月 日本国語教育学会 西日本集会 発表 平成22年11月 九州地区高等学校国語教育研究大会 発表</p> <p>5 自己紹介、プロフィールなど</p> <p>指導教諭3年目となりました。昨年度は「指導教諭をリーダーとしたチームによる授業改善の推進」事業の一員として、他の先生方の実践から多くの刺激をいただきました。自分にはこれができるものはないかもしれませんが、日々の授業の中で、生徒がいかに考え、活動できるかを常に模索しています。「共通テスト」導入を見据え、望ましい教科指導のあり方を先生方とともに考えることができたいと思っています。よろしくお願いいたします。</p> <p>6 学校紹介</p> <p>本校は今年創立120周年を迎えます。「尚学 剛健 真摯 向上」を校訓とし、「斌（ひん）」の学校教育目標のもと、生徒は学習と部活動の両立に励んでいます。進路面では国公立大学進学を中心に安定した実績を収めています。</p> <p>7 学校や関係HPのリンクなどアドレス</p> <p>http://kou.oita-ed.jp/kituki/index.html</p>
---	---